



## 現役の大学職員が大学マネジメントを学ぶ 大学経営に特化した大学院コース 講義開始

### 大学経営に特化した大学院がスタート

追手門学院大学は経営学の分野で修士(大学経営)の学位が取得できる大学院としては全国初となる、大学経営に特化した研究領域を、本年4月に大学院経営・経済研究科に開設しました。

この研究領域は現役の大学職員を含めた社会人も対象にしており、今春入学した第1期生は全員が現役の大学職員で、本学から4名、他大学から2名の合計6名の構成です。

### どのような教育・研究をするのか

現役の大学職員が学ぶ研究領域の名称は、大学院経営・経済研究科 経営・経済専攻 経営コース 大学経営研究領域で、博士前期課程のみです。標準修了年限は2年で修了には30単位以上と修士論文が必要です。

大学経営研究領域特有の開講科目は「経営戦略論研究(大学経営)」、「経営管理論研究(大学経営)」、「高等教育論」、「大学職員論」、「キャリア開発支援論」、「高等教育統計解析」で、経営学の視点から大学経営に関する専門分野の理論・事例・政策・制度・歴史を体系的に深く学び、教育マネジメント課題を調査・分析・考察する力を身に付けることを目指しています。

### 経営管理論研究(大学経営)の一コマ

この日は「経営管理論(大学経営)」の一コマ。5名の学生兼大学職員が出席し、担当教員の福島一政教授(高等教育経営)が、

「法人組織と大学経営」というテーマで講義とディスカッションを行いました。

大学経営において話題となるマネジメントとガバナンスは、はっきりとした定義による区別があるわけではなく、マネジメントは調査・決定・執行機能、ガバナンスは意見集約・チェック・監査機能の面が強いことを確認し、それぞれの経験も参考にしながら、マネジメントとガバナンスのあり方についてディスカッションを行いました。

追手門学院職員で入職9年目の男性職員は、「教育面の企画を担当しており、企画に役立つ知識や理論を身に付けたいと進学した。」と話しており、他大学の職員で入職13年目の男性職員は「知的刺激を求めて進学した。経営やマネジメントの知識を身に付け、自大学に貢献していきたい」と意気込みを語っていました。



講義の様子(左奥が福島教授)

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL：072-641-9590 谷ノ内・足立